

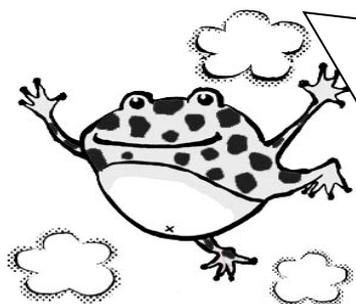
かえる便り 30年度1号

平成30年4月6日

陽春の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

5年前、縁あって智翠館で仕事をさせていただくことになりましたが、私自身は当初から5年で辞めるつもりでした。目標達成という視点から考えた場合、5年という期間が最低限必要だと思っていたからです。残念ながら結果を出すことができませんでしたが、もう少し指導をすることになりました。限られた時間の中で最大限の努力をしますのでもよろしくお願いいたします。

理想と現実 理想を掲げることや夢を持つことは簡単です。しかし、理想を実現させるためには、今の状況（現実）を客観的に知る努力をしなければなりません。一人ひとりが“今の能力”を理解し何をどうすると良いかを考えることが成長するためには必要です。 自分を知り、自分をより良く変えるそのような習慣を身に付けさせるために、具体的な改善策を授けられる指導者でありたい。まだまだ力不足ですが最善の努力をしたいと思います。



部長に桐田、コーチに清水、徳田、西山先生というスタッフになりました。櫻井先生（数学）は顧問から外れますが、勉強指導のお手伝いはしてもらおうようにお願いしています。生徒は学校を選んでも、教員は選べません。若い先生方に私の苦い経験や失敗談を話し、生徒が“この先生と出会えてよかった”と思えるように導けたらと思います…。

『見つくせぬものの中にある 見つくせず』

『人は少ししか見てい

ない。多くを見ない。しかし、一つを見ることは全てを見ることだと言われる』

自分自身をどのように見えていますか？ 昨日の自分をどう見えていますか？ そして、今日の自分はどのようでありたいと思いますか？ 今を努力することで、未来の自分の望ましい姿を考えて見て下さい!! 今の自分を見て下さい。今が全てですよ!!

春の遠征中、多くの皆様に遠方まで足を運んでいただきありがとうございました。また、差し入れをしていただき大変助かりました。本当に感謝申し上げます。皆様方が応援に来られた試合は、腑甲斐ない試合ばかりで申し訳なく思います。しかし、下関遠征の最終戦はAチーム、Bチームともに今の自分の力を最大限に発揮する努力をする選手が多くいました。一番疲れている時に…何故BB 出来るのに最初からしないのか…と思うのですが、本当に良く健闘したと思います。これを継続して欲しい。